

取組名	京都数学グランプリ、京都科学グランプリ（夢に応えられる府立高校づくり事業）																								
取組実績	<p>○京都大学と連携し、生徒の理科系科目に対する学習意欲を高め、科学的思考力の育成を図るため、数学・科学の大会「京都数学グランプリ」及び「京都科学グランプリ」を開催</p> <p>【京都数学グランプリ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1stステージではコンテスト形式で難問にチャレンジし、成績優秀者を表彰 ・2ndステージでは大学教員によるゼミ形式での講義を行う「道場」を開催 <p>▶1stステージ：京都数学コンテスト参加者</p> <table border="1" data-bbox="438 481 885 582"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校</td> <td>19名</td> <td>28名</td> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>567名</td> <td>697名</td> </tr> </tbody> </table> <p>▶2ndステージ：数学オリンピック道場参加者</p> <table border="1" data-bbox="438 616 885 716"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校</td> <td>6名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>92名</td> <td>56名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【京都科学グランプリ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ごとのチームで実験問題、筆記問題に取り組み、成績優秀チームを表彰 <p>▶京都科学グランプリ参加者</p> <table border="1" data-bbox="438 806 885 884"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高校生</td> <td>124名</td> <td>142名</td> </tr> </tbody> </table>		28年度	29年度	中学校	19名	28名	高校	567名	697名		28年度	29年度	中学校	6名	4名	高校	92名	56名		28年度	29年度	高校生	124名	142名
	28年度	29年度																							
中学校	19名	28名																							
高校	567名	697名																							
	28年度	29年度																							
中学校	6名	4名																							
高校	92名	56名																							
	28年度	29年度																							
高校生	124名	142名																							
担当課	高校教育課																								

取組の成果と課題

【成果】

- 全国学力・学習状況調査において、小中学校ともに平均正答率が全国平均を上回っているのは、京都式少人数教育をはじめ、各校における結果分析を踏まえた学習指導や授業改善など様々な学力向上に関する取組成果の表れである。
- 中1振り返り集中学習「ふりスタ」や中2学力アップ集中講座によるきめ細かな指導を行うことにより、生徒が課題を克服することができ達成感が得られ、主体的な学びや学習意欲の向上につながった。
- 大学の先生に学ぶ体験授業により、児童生徒の興味・関心や意欲の高まりが見られるとともに、体験活動の機会の拡充が図られた。
- 府立高校実力テストについては、府立高校生の学力状況を把握し、教科指導の充実や希望進路を実現させる指導の一助となった。
- 京都大学と連携した取組である京都数学グランプリや京都科学グランプリにより、生徒の興味・関心の喚起及び数学的・科学的なものの見方や考え方の育成に寄与した。

【課題】

- 学力向上については、義務教育9年間に加えて高校まで含めた12年間を見通した連携や取組の充実が必要であり、そのためにも小中学校で実施されている全国学力・学習状況調査や府学力診断テスト、府立高校で実施されている実力テストのデータを詳細に分析し、一人一人に応じた指導を進める必要がある。
- 小学校6年生、中学校3年生において、授業以外の学習時間が30分未満の割合が前年度に比べて減少したが、依然として課題である。
- 一人一人が「文章を構成する力」を身に付けるために、小論文グランプリなどの取組を充実させる必要がある。
- 「大学入学共通テスト」や「高校生のための学びの基礎診断」など、現在、国で検討が行われている教育改革については、今後の方向性を見据え、府教育委員会で検討する必要がある。
- 京都数学グランプリや京都科学グランプリなどを通して、より多くの生徒に数学や科学のおもしろさなどを肌で感じてもらえるように、参加者の裾野を拡大させていく必要がある。

京都府教育行政点検評価会議での意見

- 全国学力・学習状況調査の平均正答率が全国平均正答率の1/2以下の子どもの割合が、中学校数学で年々減少していることは、基礎学力定着の取組を組織的・計画的に実施し、困難な状況に置かれた児童生徒の学力の下支えに取り組んだ成果である。
- 全国学力・学習状況調査では、府の平均正答率が全国平均を上回っている。中1振り返り集中学習「ふりスタ」や「中2学力アップ集中講座」等の学力対策事業による基礎基本の定着が一層進んだ成果と考えられる。
- 学校の授業時間以外の勉強時間が平日1日当たり30分に満たない子どもの割合が多いことが気になる。各種事業と関連させながら、改善に向けて取り組んでいく必要がある。
- 小学校段階での様々な取組の中で、基礎基本の知識等をしっかり習得させていくことが大切である。

重点目標2 人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ

京都府内にある豊かな自然や歴史、伝統・文化など先人が積み上げてきたものを継承し、新しい文化を創造していくためには、これらを学び知るだけでなく、自然、人、社会とつながり、共生する力を身に付けることが大切です。

そのため、体験活動や読書活動を通して人を思いやり、尊重する心、感性や情緒、創造力をはぐくみ、豊かな人間性を育成することができるよう取組を推進します。

■主要な施策の方向性

- (4) 人を思いやり、尊重する心の育成
- (5) 豊かな感性、情緒の育成
- (6) 読書活動を通じた創造力、表現力の育成
- (7) 京都の伝統と文化を守り、受けつぎ、新たな文化を創造する心と技の育成

■主な目標指標

目標指標	基準値	目標	28年度実績	29年度実績
人が困っているときは進んで助けようとする子どもの割合 (「人が困っているときは、進んで助けていますか」という質問に対し「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合の計)	小4:86.5% 中1:85.6% 中2:81.3% (H27年度)	増加させる	小4:87.5% 中1:85.7% 中2:79.2%	小4:87.0% 中1:86.7% 中2:80.5%
地域の自然や歴史について関心がある子どもの割合 (「今住んでいる地域の歴史や自然について関心がありますか」という質問に対し「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合の計)	小4:67.6% 中1:51.7% 中2:33.9% (H27年度)	増加させる	小4:70.2% 中1:52.4% 中2:33.6%	小4:66.8% 中1:51.9% 中2:34.9%
自分には、よいところがあると思う子どもの割合 (「自分には、よいところがあると思う」という質問に対し「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合の計)	小6:76.6% 中3:68.3% (H27年度)	増加させる	小6:75.9% 中3:67.7%	小6:77.9% 中3:70.6%
朝の読書などの一斉読書の時間を週1回以上設けている学校の割合	小:95.8% 中:92.6% (H26年度)	100%	小:95.7% 中:92.7%	小:97.1% 中:94.6%
高校生伝統文化事業参加生徒数 (年間/延べ人数)	7,289人 (H26年度)	7,800人	8,431人	7,893人

■主な取組実績

取組名	道徳教育の推進
取組実績	○京都府独自の心の教育学習資料集「京の子ども 明日へのとびら」を府内全小中学生に配付し、全校で活用 ○道徳の教科化に向けて、「道徳教育の進め方 京都式ハンドブック」を改訂し、全小中学校教員等に配布
担当課	学校教育課

取組名	こころを育む古典の日推進事業																		
取組実績	○児童生徒が古典に親しみ、日本語の美しさを感じることで言語力の向上を図るため、古典の日（11月1日）を中心に、各教育局において小中学生による古典作品等の朗読・暗唱大会を実施 ▶各局の取組 ・山城教育局（平成29年11月12日実施） 「読もう！語ろう！伝え合おう！」朗読、暗唱発表会、古典の広場「書道パフォーマンス」実演、読み聞かせの実演等 ・南丹教育局（平成29年10月14日実施） 古典の群読・朗読、吟詠剣詩舞、英語による古典落語等 ・丹後教育局（平成29年11月19日実施） 古典作品の暗唱・朗読発表会 ※乙訓教育局、中丹教育局については、気象警報発令のため中止 ▶参加人数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乙訓</td> <td>約400名</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>山城</td> <td>約450名</td> <td>約500名</td> </tr> <tr> <td>南丹</td> <td>約350名</td> <td>約300名</td> </tr> <tr> <td>中丹</td> <td>約500名</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>丹後</td> <td>約400名</td> <td>約300名</td> </tr> </tbody> </table>		28年度	29年度	乙訓	約400名	—	山城	約450名	約500名	南丹	約350名	約300名	中丹	約500名	—	丹後	約400名	約300名
	28年度	29年度																	
乙訓	約400名	—																	
山城	約450名	約500名																	
南丹	約350名	約300名																	
中丹	約500名	—																	
丹後	約400名	約300名																	
担当課	学校教育課																		

取組名	豊かな心を育てる読書活動の推進（豊かな心を育てる教育推進事業）
取組実績	○「子ども読書の日（4月23日）」記念事業開催 「第6回子ども読書本のしおりコンテスト」 （応募総数9,696点、入賞作品101点、府内33箇所で開催） ○26年度に策定した「京都府子どもの読書活動推進計画（第三次推進計画）」に基づき、学校・家庭・地域での読書活動を推進
担当課	学校教育課・社会教育課

取組名	読書活動推進事業												
取組実績	<p>○調べ学習や朝読書、平行読書等に役立つ図書を府立図書館において整備し、環境や文化、福祉や仕事などの各ジャンルごとに「学校支援セット」としてメニュー化して、府内の学校等への貸出を実施</p> <p>▶学校支援セットの整備状況（上段）及び貸出状況（下段）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小中学校</td> <td>13ジャンル 82テーマ 197セット 7,075冊</td> <td>13ジャンル 92テーマ 236セット 9,046冊</td> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>11ジャンル 145テーマ 331セット 10,430冊</td> <td>11ジャンル 150テーマ 276セット 9,111冊</td> </tr> <tr> <td>冊数計</td> <td>17,505冊</td> <td>18,157冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>※高校が小・中学校版を利用するなどの他校種版の貸出実績を含む ※市町村立図書館や総合教育センター等、学校以外への貸出実績を含む</p> <p>○京都府が実施している「きょうとこどもの城づくり事業」の支援を受け、「子ども食堂」や「こどもの居場所づくり」に取り組んでいる団体に対して、無料で図書を貸し出す取組を29年11月から開始</p> <p>▶貸出状況 11団体 787冊</p>		28年度	29年度	小中学校	13ジャンル 82テーマ 197セット 7,075冊	13ジャンル 92テーマ 236セット 9,046冊	高校	11ジャンル 145テーマ 331セット 10,430冊	11ジャンル 150テーマ 276セット 9,111冊	冊数計	17,505冊	18,157冊
	28年度	29年度											
小中学校	13ジャンル 82テーマ 197セット 7,075冊	13ジャンル 92テーマ 236セット 9,046冊											
高校	11ジャンル 145テーマ 331セット 10,430冊	11ジャンル 150テーマ 276セット 9,111冊											
冊数計	17,505冊	18,157冊											
担当課	社会教育課												

取組名	高校生「京の文化力」推進事業																					
取組実績	<p>○府立高校の文化系部活動を指定し、専門家による指導や高校生が地域の小中学校の文化祭等に参加し、文化の魅力を伝えるなど、部活動の活性化や伝統文化の次世代への継承を図る。</p> <p>▶指定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定校数</td> <td>23校</td> <td>23校</td> </tr> <tr> <td>部活動数</td> <td>29部</td> <td>28部</td> </tr> </tbody> </table> <p>○京都府高等学校総合文化祭の開催 ・時期 9月中旬～12月中旬</p> <p>▶参加状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加校</td> <td>47校</td> <td>47校</td> </tr> </tbody> </table> <p>《指定文化部を含む文化部生徒が参加した事業》</p> <p>○「全国高校生伝統文化フェスティバル」（文化スポーツ部）と京都府高等学校総合文化祭「優秀校発表会」の合同開催 ・時期 12月</p> <p>▶参加状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加校</td> <td>3校</td> <td>3校</td> </tr> </tbody> </table> <p>○「第3回全国高校生茶道交流会」の開催（文化スポーツ部）</p>		28年度	29年度	指定校数	23校	23校	部活動数	29部	28部		28年度	29年度	参加校	47校	47校		28年度	29年度	参加校	3校	3校
	28年度	29年度																				
指定校数	23校	23校																				
部活動数	29部	28部																				
	28年度	29年度																				
参加校	47校	47校																				
	28年度	29年度																				
参加校	3校	3校																				
担当課	高校教育課																					

取組名	高校生伝統文化事業												
取組実績	<p>○日本・郷土の伝統文化を尊重する態度を育成するため、京都府にゆかりの深い茶道・華道を通じた伝統文化の学習を実施</p> <p>▶参加状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>茶 道</td> <td>全府立高校で実施</td> <td>全府立高校で実施</td> </tr> <tr> <td>華 道</td> <td>24校</td> <td>25校</td> </tr> <tr> <td>その他の伝統文化</td> <td>25校</td> <td>25校</td> </tr> </tbody> </table> <p>○文化財建造物修理現場見学や地域文化フィールドワークを行う文化歴史推進校を指定【㊤新規】</p> <p>▶指定校 29年度：6校</p>		28年度	29年度	茶 道	全府立高校で実施	全府立高校で実施	華 道	24校	25校	その他の伝統文化	25校	25校
	28年度	29年度											
茶 道	全府立高校で実施	全府立高校で実施											
華 道	24校	25校											
その他の伝統文化	25校	25校											
担当課	高校教育課												

取組名	文化財対策事業																																				
取組実績	<p>○未指定文化財の調査を進め暫定登録文化財として登録し、将来重要文化財になるような文化財的価値の高いものを、被災・散逸防止の観点から優先的に保護【㊤新規】</p> <p>▶登録数 平成29年度：1,016件</p> <p>○府内の有形・無形文化財を指定等し、地域活性化等に向けた活用を推進</p> <p>▶指定・登録実件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定・登録実件数</td> <td>736件</td> <td>765件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○国史跡恭仁宮跡や府内の文化財を活用し、ツアー等を実施【㊤新規】</p> <p>▶参加者数 平成29年度：46人</p> <p>○文化財保護に関する普及啓発事業として、文化財の発掘現場等を公開</p> <p>▶参加者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>4,040名</td> <td>5,174名</td> </tr> <tr> <td>重要文化財</td> <td>6現場</td> <td>6現場</td> </tr> <tr> <td>建造物修理現場</td> <td>3,542名</td> <td>4,994名</td> </tr> <tr> <td>埋蔵文化財</td> <td>(恭仁宮跡)130名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発掘調査現場</td> <td>(千代川遺跡)61名 (平安京跡)307名</td> <td>(恭仁宮跡)180名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※29年度はこの他（公財）京都府埋蔵文化財調査研究センターに委託し、埋蔵文化財セミナーや夏休み考古体験教室等を実施 ▶参加者 3,438名</p> <p>○郷土資料館において、企画・特別展や学校への出前授業等を実施</p> <p>▶利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山城郷土資料館</td> <td>20,197名</td> <td>20,653名</td> </tr> <tr> <td>丹後郷土資料館</td> <td>12,647名</td> <td>13,292名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>32,844名</td> <td>33,945名</td> </tr> </tbody> </table>		28年度	29年度	指定・登録実件数	736件	765件		28年度	29年度	参加者数	4,040名	5,174名	重要文化財	6現場	6現場	建造物修理現場	3,542名	4,994名	埋蔵文化財	(恭仁宮跡)130名		発掘調査現場	(千代川遺跡)61名 (平安京跡)307名	(恭仁宮跡)180名		28年度	29年度	山城郷土資料館	20,197名	20,653名	丹後郷土資料館	12,647名	13,292名	合計	32,844名	33,945名
	28年度	29年度																																			
指定・登録実件数	736件	765件																																			
	28年度	29年度																																			
参加者数	4,040名	5,174名																																			
重要文化財	6現場	6現場																																			
建造物修理現場	3,542名	4,994名																																			
埋蔵文化財	(恭仁宮跡)130名																																				
発掘調査現場	(千代川遺跡)61名 (平安京跡)307名	(恭仁宮跡)180名																																			
	28年度	29年度																																			
山城郷土資料館	20,197名	20,653名																																			
丹後郷土資料館	12,647名	13,292名																																			
合計	32,844名	33,945名																																			
担当課	文化財保護課																																				

取組の成果と課題

【成 果】

- 道徳の教科化に向け、「道徳教育の進め方 京都式ハンドブック」を活用した研修を実施するなど、各学校において道徳の時間の授業改善に対する意識が高まっている。
- 「子ども読書の日」の記念事業「本のしおりコンテスト」は、市町村立図書館や公民館、書店等と連携した取組として定着し、地域や家庭で子どもの創造力や表現力を育成する機運の醸成が進んだ。
- 学校支援セット貸出については、学校のニーズに応じた図書を揃えるとともに、申込みや搬送の利便性を向上させたことなどにより、利用実績（冊数）は5年間で3倍に増加した。
- 高校生「京の文化力」推進事業については、専門家から高度な指導を受けることができた。また、地域の小中学生と文化の伝承を意識した活動ができた。
- 多くの生徒が茶道や華道、和歌などを通じた伝統文化の学習に参加することで、日本の伝統文化に親しむ意識を高めることができた。
- 全国初の取組として暫定登録文化財制度を創設し、1年で1,016件という多くの文化財を登録したことにより、文化財保護の裾野を広げ、貴重な文化財の早期保護が実現できた。
- 平成29年度が初の取組である史跡を巡るツアーの実施や文化財建造物修理現場の公開、府立郷土資料館の出前授業等を通じて、府民や児童生徒が文化財に触れる機会が増え、豊かな人間性をはぐくむ一助となるとともに、文化財保護意識の向上につながった。

【課 題】

- ほとんどの学校で道徳教育の研修が年間研修計画に位置付けて実施されているが、今後は、「京の子ども 明日へのとびら」の活用方法など、多様な指導方法を授業に活かすための研修の充実を更に図る必要がある。
- 読書活動は、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするものであり、子ども読書の日の記念事業や府立図書館における学校支援セットの整備、市町村立図書館職員向け研修など、子どもが読書に慣れ親しむための取組の充実を更に図る必要がある。
- 児童生徒の伝統文化や芸術活動の経験を尊重し、将来的に日本の伝統文化を継承する担い手育成の更なる支援が必要である。
- 今後も、より多くの府民や児童生徒が伝統や文化に接することができるよう、各種取組を継続するとともに、これまで文化財に興味を持っていなかった人たちにも関心を持ってもらえる工夫など、更なる取組を進める必要がある。

京都府教育行政点検評価会議での意見

- 道徳の教科化に向けて、素晴らしい「ハンドブック」がある一方で、「人が困っているときは進んで助けようとする子どもの割合」の29年度実績が、対前年度比で0.5ポイント下がっているということは、このハンドブックが子ども達の間浸透していないのかもしれない。評価の在り方も含めてしっかり検討していく必要がある。
- こころを育む古典の日推進事業によって、児童生徒の表現力は高まっているが、参加者の広がりが無いことが残念である。
- 読書活動について、本を読んだ冊数を主眼としているように見受けられるが、大切なことは読んでどう感じたかであり、それを表現する力を伸ばしていく必要がある。
- 伝統や文化を学ぶ上で、京都府は非常に恵まれた環境にある。その環境を生かした事業を実施することで、子どもが多くの伝統文化に触れ、関心を持つようになる。

重点目標3 たくましく健やかな身体をはぐくむ

生涯にわたっていきいきとたくましく生きるためには、それを支える基盤として健康や体力が必要です。また、それらは自らの目標に向かって、失敗を恐れず挑戦し続ける力を発揮するための源となるものです。

そのため、楽しく体を動かす習慣を身に付けさせながら、体力・運動能力の向上を目指すとともに、知育・徳育・体育の基礎となる食育をはじめ、健康的な生活習慣を確立できるよう取組を推進します。

■主要な施策の方向性

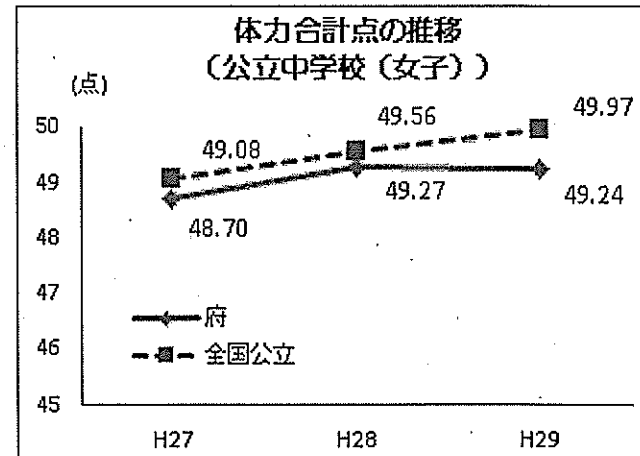
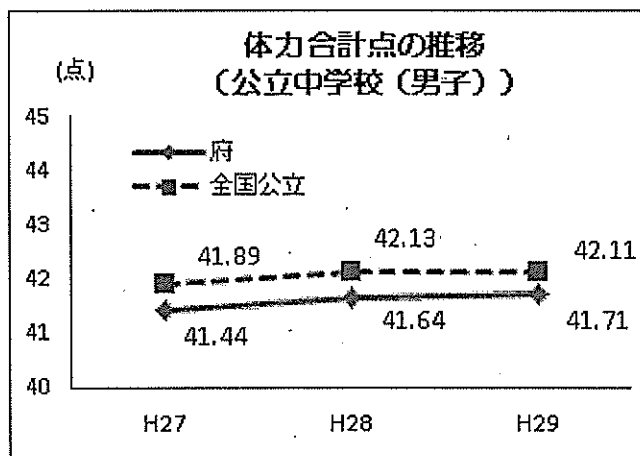
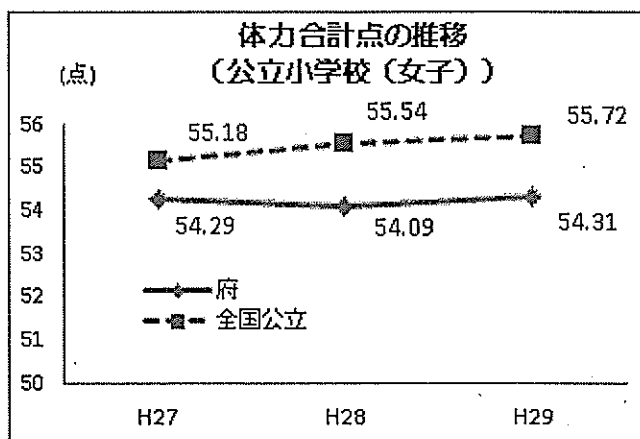
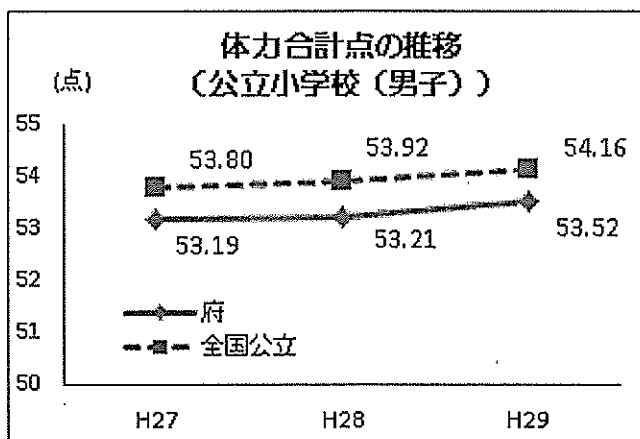
- (8) 体力の向上
- (9) 健やかな身体の育成
- (10) 食育の推進

■主な目標指標

目標指標	基準値	目標	28年度実績	29年度実績
運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合 (「運動やスポーツをすることは好きですか」という質問に対し「好き」「やや好き」と回答した児童生徒の割合の計)	<小5> 男子:93.6% 女子:85.8% <中2> 男子:88.9% 女子:77.6% (H27年度)	増加させる	<小5> 男子:93.3% 女子:85.1% <中2> 男子:88.3% 女子:76.5%	<小5> 男子:92.8% 女子:85.4% <中2> 男子:89.5% 女子:76.1%
1週間の総運動時間が60分未満の子どもの割合	<小5> 男子:6.8% 女子:13.3% <中2> 男子:6.9% 女子:20.5% (H27年度)	減少させる	<小5> 男子:6.6% 女子:11.9% <中2> 男子:6.3% 女子:20.5%	<小5> 男子:6.6% 女子:13.1% <中2> 男子:5.3% 女子:19.1%
子どもの体力・運動能力の状況	<小5> 50m走 男子9.17秒 女子9.65秒 握力 男子16.26kg 女子15.78kg ボール投げ 男子24.57m 女子15.22m <中2> 50m走 男子7.93秒 女子8.72秒 握力 男子28.88kg 女子23.77kg ボール投げ 男子20.51m 女子13.28m (H26年度)	向上させる	<小5> 50m走 男子9.19秒 女子9.46秒 握力 男子16.25kg 女子15.61kg ボール投げ 男子24.05m 女子15.38m <中2> 50m走 男子7.84秒 女子8.65秒 握力 男子29.01kg 女子24.00kg ボール投げ 男子19.99m 女子13.40m	<小5> 50m走 男子9.14秒 女子9.42秒 握力 男子16.26kg 女子15.89kg ボール投げ 男子23.90m 女子15.44m <中2> 50m走 男子7.85秒 女子8.56秒 握力 男子29.05kg 女子24.46kg ボール投げ 男子20.35m 女子13.91m
基本的な生活習慣「早寝、早起き、朝ごはん」が身に付いている子どもの割合 ①12時(小学校4年生は11時)までに就寝する子どもの割合	小4:93.1% 中1:93.5% 中2:82.1% (H27年度)	増加させる	小4:93.5% 中1:93.2% 中2:81.6%	小4:93.4% 中1:93.8% 中2:80.8%

② 7時までに起床する子どもの割合	小4:81.2% 中1:76.2% 中2:70.5% (H27年度)	増加させる	小4:82.1% 中1:76.7% 中2:69.9%	小4:81.0% 中1:77.3% 中2:69.7%
③ 朝食を毎日食べる子どもの割合	小4:86.7% 中1:85.3% 中2:83.1% (H27年度)	増加させる	小4:86.2% 中1:84.6% 中2:82.5%	小4:86.2% 中1:83.6% 中2:82.4%
薬物乱用防止教室を実施している学校の割合	小:65.3% 中:86.5% 高:89.1% (H26年度)	100%	小:100% 中:100% 高:100%	小:100% 中:100% 高:100%

■ 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」(スポーツ庁)の推移



※体力合計点

【小学校】 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げの8種目をそれぞれ得点化し、その合計得点の平均

【中学校】 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、持久走、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げの8種目をそれぞれ得点化し、その合計得点の平均(持久走と20mシャトルランは選択)

■主な取組実績

取 組 名	京の子ども体力・運動能力向上推進事業										
取 組 実 績	<p>○小学校・中学校体育授業における先進的な取組を進めるため、体力・運動能力向上指定校を指定し、出前授業等を実施</p> <p>▶指定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定校数</td> <td>11校</td> <td>10校</td> </tr> </tbody> </table> <p>○「京の子ども元気なからだスタンダード」及び「同スタンダードPLUS+」の活用推進と体育授業の指導方法の改善を図るため、小学校教員を対象に「体力・運動能力向上実技研修会」等を開催</p> <p>○幼児期からの運動習慣の定着を目的に「運動遊びガイドブック」及び「まゆまる体操（DVD）」を配布し、体育的活動における活用を周知</p> <p>▶取組状況</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>28年度</td> <td>「スタンダード実技研修会」を3回開催（対象：小学校教員） 「体力・運動能力向上指定校検討会議」を2回開催 （対象：指定校教員、関係教委等）</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>「体力・運動能力向上実技研修会」を3回開催 （対象：小学校等教員） 「体力・運動能力向上指定校検討会議」を2回開催 （対象：指定校教員、関係教委等）</td> </tr> </tbody> </table>		28年度	29年度	指定校数	11校	10校	28年度	「スタンダード実技研修会」を3回開催（対象：小学校教員） 「体力・運動能力向上指定校検討会議」を2回開催 （対象：指定校教員、関係教委等）	29年度	「体力・運動能力向上実技研修会」を3回開催 （対象：小学校等教員） 「体力・運動能力向上指定校検討会議」を2回開催 （対象：指定校教員、関係教委等）
	28年度	29年度									
指定校数	11校	10校									
28年度	「スタンダード実技研修会」を3回開催（対象：小学校教員） 「体力・運動能力向上指定校検討会議」を2回開催 （対象：指定校教員、関係教委等）										
29年度	「体力・運動能力向上実技研修会」を3回開催 （対象：小学校等教員） 「体力・運動能力向上指定校検討会議」を2回開催 （対象：指定校教員、関係教委等）										
担 当 課	保健体育課										

取 組 名	運動部活動外部指導者派遣事業									
取 組 実 績	<p>○学校部活動支援のため、学校の実態に応じた外部人材を中学校・高校等に配置</p> <p>▶派遣状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校</td> <td>44校 70部</td> <td>48校 72部</td> </tr> <tr> <td>高 校</td> <td>39校 83部</td> <td>36校 92部</td> </tr> </tbody> </table>		28年度	29年度	中学校	44校 70部	48校 72部	高 校	39校 83部	36校 92部
	28年度	29年度								
中学校	44校 70部	48校 72部								
高 校	39校 83部	36校 92部								
担 当 課	保健体育課									

取 組 名	薬物乱用ゼロ推進事業
取 組 実 績	<p>○危険薬物が児童生徒の身近に迫っている深刻な状況を受け、学校保健と生徒指導の連携を更に進め、未然防止の徹底と早期発見・早期対応を図るなど、薬物乱用根絶に向けた取組を一層推進するため、教員に対する薬物乱用防止教育推進事業を実施</p> <p>▶実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止教育推進研修会（南北2会場 計523名参加） ・薬物乱用防止教室講習会（354名参加）
担 当 課	保健体育課

取組名	食育の推進																	
取組実績	<p>○教育活動全体を通じた食育を組織的、計画的に推進するため、全ての学校で「食に関する指導計画」を作成</p> <p>○学校の食育担当者等を対象にした研修会を開催（府内5会場）</p> <p>○研究の推進及びその成果の普及を図るため、食に関する指導充実事業実践中心校等を指定し食育の指導モデルとして取組を行うとともに、実践報告や交流を図るために食育推進フォーラムを実施</p> <p>▶研究指定状況</p> <table border="1" data-bbox="435 495 887 595"> <tr> <td></td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> </tr> <tr> <td>市町数</td> <td>11市町</td> <td>10市町</td> </tr> <tr> <td>指定校数</td> <td>12校</td> <td>12校</td> </tr> </table> <p>○食育月間・食育の日の推奨と取組事例のホームページ掲載 各市町（組合）教育委員会、府立学校（高等学校、特別支援学校、附属中学校）より選出の先進事例を紹介</p> <p>○「和食の日（11月24日：いいにほんしょく）」を、学校給食を実施する全ての学校で取組</p> <p>○農林水産部と連携し、地域の社会人講師（きょうと食いく先生派遣事業、エディブルスクールヤード事業）による出前授業を実施し、実践型食育を推進</p> <p>▶実施状況</p> <table border="1" data-bbox="424 853 887 920"> <tr> <td></td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> </tr> <tr> <td>実施件数</td> <td>67件</td> <td>103件</td> </tr> </table>				28年度	29年度	市町数	11市町	10市町	指定校数	12校	12校		28年度	29年度	実施件数	67件	103件
	28年度	29年度																
市町数	11市町	10市町																
指定校数	12校	12校																
	28年度	29年度																
実施件数	67件	103件																
担当課	保健体育課																	

取組の成果と課題

【成果】

- 体力・運動能力向上指定校において出前授業を実施し、児童が楽しみながら運動に取り組める教材例を提示するなど、各指定校における課題解決に向けた取組の充実を図ることができた。また、取組内容を報告書にまとめ、府内各校へ広く周知を図った。
- 「運動遊びガイドブック」及び「まゆまる体操」の周知・普及に向け、各種研修会等で活用に向けた講習を実施した。
- 昨年度よりも多くの学校及び運動部へ外部指導者を派遣することができ、顧問の物理的・精神的負担の軽減を図ることができた。
- 外部指導者の派遣により、専門的な技術指導やスポーツ医科学的な知見を取り入れた合理的で、かつ、効果的・効率的な指導を展開することができた。
- 食に関する指導の全体計画は、昨年度に引き続き、全ての公立学校で作成されている。食に関する取組については、91.9%の小学校で、理科や社会科、総合的な学習の時間などを活用して実施された。また、食に関する体験活動（田植え・稲刈り・茶摘み・漬物作り・味噌作り・魚をおろす等）と調理実習や学校給食と合わせた取組も86.2%の小学校で実施されており、学校教育活動全体での食育の実践が進められている。

【課題】

- 体力・運動能力向上指定校では、取組の結果、明らかな成果が見られており、今後は指定校以外の学校へ体力・運動能力向上に向けた取組をより一層進めていく必要がある。
- 外部指導者に対する学校現場のニーズは年々高まってきており、人材及び財源の確保が今後の大きな課題である。
- 中学校、高等学校については、依然、教科横断や体験活動による食育の取組が低調である。生涯にわたって健全な心と身体を培うためにも、食育の効果を広く伝える必要がある。
- 家庭への食に関する指導や情報発信については、啓発方法を工夫し、家庭へのアプローチを粘り強く続けるとともに、様々な機会を活用した取組の充実が必要である。

京都府教育行政点検評価会議での意見

- 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」（スポーツ庁）を見ると京都府は全国と比べて毎年低調な状況であり、府教育委員会としてこの結果をどのように分析しているのか。指定校を指定するなど、重点的に取り組まれていることはわかるが、そのやり方や効果等を検証すべきである。
- 外部人材について、特に中学校への配置をもっと拡充していくべきだと考える。
- 特定の遊具等を撤去している小学校もあるようだが、こうしたことが体力の低下に影響しているのかもしれない。
- 食育の推進は学校給食の目的とするところであり、各校において積極的な取組が進められている。
- 食物アレルギーを有する児童生徒への対応が喫緊の課題となっており、個別計画に基づいた組織的な対応が求められている。

重点目標4 一人一人を大切にし、個性や能力を最大限に伸ばす

一人一人をかけがえのない存在として大切にし、その個性を尊重するとともに、その能力と可能性を見出し、それらを最大限に伸ばすことは重要な目標です。

そのためには、多様な教育的ニーズに対応した教育内容を充実するとともに、各校種における学校の特色化を推進することが必要です。特別支援教育をはじめ、人権教育やキャリア教育、また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を踏まえたスポーツの推進など、一人一人を大切にし、個性や能力の伸長が図られるよう取組を推進します。

■主要な施策の方向性

- (11) 魅力ある学校づくりの推進
- (12) 人権教育の推進
- (13) 特別支援教育の推進
- (14) 幼児教育の推進
- (15) キャリア教育の推進
- (16) スポーツの推進

■主な目標指標

目標指標	基準値	目標	28年度実績	29年度実績
京都府作成の人権教育関係資料を活用して人権学習や研修等を実施している学校の割合	100% (H26年度)	100%	小:100% 中:100%	小:100% 中:100%
特別な支援を要する子どもに係る個別の指導計画が作成されている割合	小:100% 中:97.9% 高:62.5% (H26年度)	100%	小:100% 中:94.9% 高:41.8%	小:99.5% 中:96.9% 高:56.4%
特別支援学校生徒の就職率	24.7% (H26年度)	30%	34.5%	27.7%
保育所、幼稚園、認定こども園及び家庭と連携して交流活動を実施している小学校の割合	96.2% (H26年度)	100%	97.1%	97.1%
自分の夢や目標を持っている子どもの割合 (「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対し「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合の計)	小6:85.7% 中3:69.2% (H27年度)	増加させる	小6:84.5% 中3:68.7%	小6:84.7% 中3:68.2%
キャリア教育に関する体験活動を実施している学校の割合	小100% 中100% 高100% (H26年度)	100%	小:100% 中:100% 高:100%	小:100% 中:100% 高:100%
府立学校生徒の全国高校総体、国民体育大会など全国大会の出場者数及び8位入賞数(年間/延べ数)	出場者数 339人 8位入賞数 131人・校 (H26年度)	増加させる	出場者数 357人 8位入賞数 85人・校	出場者数 383人 8位入賞数 100人・校

■主な取組実績

取組名	夢に応えられる府立高校づくり事業										
取組実績	<p>○府立高校のさらなるレベルアップを図り、生徒一人一人に応じた教育と時代の変化に対応した教育を実践するため、各府立高校の特色化を推進</p> <p>○全府立高校が、それぞれの学校の特色に応じた事業を企画し応募</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組状況</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スーパーサイエンスネットワーク京都</td> <td>9校</td> </tr> <tr> <td>グローバルネットワーク京都</td> <td>9校</td> </tr> <tr> <td>スペシャリストネットワーク京都</td> <td>5校</td> </tr> <tr> <td>京都フロンティア校</td> <td>24校</td> </tr> </tbody> </table> <p>○専門の外部人材による研究支援、論文コンテストの実施、民間企業との連携、地域貢献活動や学校独自の学力向上の取組等、様々な取組を実施</p>	取組状況	内訳	スーパーサイエンスネットワーク京都	9校	グローバルネットワーク京都	9校	スペシャリストネットワーク京都	5校	京都フロンティア校	24校
取組状況	内訳										
スーパーサイエンスネットワーク京都	9校										
グローバルネットワーク京都	9校										
スペシャリストネットワーク京都	5校										
京都フロンティア校	24校										
担当課	高校教育課										

取組名	人権教育の推進																														
取組実績	<p>○児童生徒や教育を取り巻く状況の変化及び多様化・複雑化する人権問題に対応した教材を掲載した中学校用の人権学習資料集を作成・配布 作成部数：7,000部 配布先：府内の公立小・中・義務教育学校、府立学校の教職員、市町（組合）教育委員会等</p> <p>○学校、家庭、地域社会が一体となった教育上の総合的な研究や、学校における人権教育に関する指導方法の改善及び充実に資することを目的とした実践的な研究を実施 (1) 人権教育総合推進地域事業 指定地域：福知山市（桃映中学校、大正小学校、庵我小学校） (2) 人権教育研究指定校事業 指定校：府立城陽支援学校</p> <p>○市町村や地域で行われる人権学習に活用できる指導者用の資料を作成するとともに、人権教育に関する視聴覚教材を整備し市町村や学校等への貸出を実施</p> <p>▶取組内容及び参加者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京都府総合教育センターにおける研修</td> <td>1,615名</td> <td>1,546名</td> </tr> <tr> <td>京都教育大学への派遣研修</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>独立行政法人教員研修センターでの研修</td> <td>3名</td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※この他、学校において全教職員を対象とした人権研修を実施</p> <p>○社会教育関係者や学校教育関係者、社会教育関係団体を対象とした人権教育指導者研修会を開催</p> <p>▶研修会開催状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>103名</td> <td>97名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○社会教育関係職員及び社会教育関係団体指導者等の資質の向上に向けた指導者用資料「人権教育指導者ハンドブック（社会教育編）」を作成・配布 ▶作成部数：4,000部 配布先：市町（組合）教委、府内公民館、公立学校等</p> <p>○民間企業と連携し、毎月（年間12回）府内の小中及び府立学校の学校非公サイトの監視を実施し、有害情報を検出し、削除するとともに、その情報を基に生徒指導等を実施</p> <p>▶有害情報件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リスクレベル高</td> <td>0件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>リスクレベル中</td> <td>348件</td> <td>691件</td> </tr> </tbody> </table>		28年度	29年度	京都府総合教育センターにおける研修	1,615名	1,546名	京都教育大学への派遣研修	1名	1名	独立行政法人教員研修センターでの研修	3名	3名		28年度	29年度	回数	2回	2回	参加者	103名	97名		28年度	29年度	リスクレベル高	0件	2件	リスクレベル中	348件	691件
	28年度	29年度																													
京都府総合教育センターにおける研修	1,615名	1,546名																													
京都教育大学への派遣研修	1名	1名																													
独立行政法人教員研修センターでの研修	3名	3名																													
	28年度	29年度																													
回数	2回	2回																													
参加者	103名	97名																													
	28年度	29年度																													
リスクレベル高	0件	2件																													
リスクレベル中	348件	691件																													
担当課	学校教育課・社会教育課																														